

安楽寺

<http://digitalarchiveproject.jp/database/安楽寺/>



昔、当地の領主だった吉見兵庫介が北国に移ることになり、行基菩薩から授かった観音像も持っていこうとしたが、石のように動かなくなった。そのため、石櫃(いしびつ)に入れて岩窟のなかに納めた。

時を経て、奥州平定の任についた坂上田村麻呂は、その途中、観音が安置されているところでは必ず参拝し、戦勝を祈願していた。比企から吉見に至る夜のこと、夢に老僧が現れて、「汝、夷賊退治の大義にあづかり、我を念ずることの切なれば、我、軍営を衛り大功を立てしめん」と語った。さらに同じ夜、吉見の里人の夢にも老僧が現れ、「我、当地の岩窟に在って、久しく汝らを守護すれども、深いいばらにふさがり、鳥獣のすみかとなれば、汝ら我かたちを見る者なし。今や開縁の時至れり。このこと東征將軍に披露せよ」と告げた。さっそく、田村麻呂が山に分け入ると、石で閉ざされた岩窟があったので、一心に祈ったところ、扉が開いて聖観音が光明を放ちながら立っていたと伝えられる。

鎌倉時代になると、源頼朝の乳母だった比企禪尼が、当地を住まいとした。頼朝の異母弟範頼は、平治の乱の後、比企禪尼を頼って、安楽寺の稚児僧となった。鎌倉幕府成立後は当地の領主となり、吉見御所と呼ばれたという。範頼は、安楽寺に所領の半分を寄進し、三重塔や大講堂などを建立したが、兄頼朝との争いに敗れ、当寺も戦火のため焼失した。

多くは江戸時代以降の建築だが、本堂や県指定文化財の三重塔など、寺観は整っている。本堂欄間には左甚五郎作と伝えられる野荒らしの虎の彫刻があり、夜になると抜け出して、一帯の田畑を荒らしたという。



0001_安楽寺



0002_安楽寺



0003_安楽寺



0004_安楽寺



0005_安楽寺



0006_安楽寺



0007_安楽寺



0008_安楽寺



0009_安楽寺



0010_安楽寺



0011_安楽寺



0012_安楽寺



0013_安楽寺



0014_安楽寺



0015_安楽寺



0016_安楽寺



0017_安楽寺



0018_安楽寺



0019_安楽寺



0020_安楽寺



0021_安楽寺



0022_安楽寺



0023_安楽寺



0024_安楽寺



0025_安楽寺



0026_安楽寺



0027_安楽寺



0028_安楽寺



0029_安楽寺



0030_安楽寺



0031_安楽寺



0032_安楽寺



0033_安楽寺



0034_安楽寺



0035_安楽寺



0036_安楽寺



0037_安楽寺



0038_安楽寺



0039_安楽寺



0040_安楽寺



0041_安楽寺



0042_安楽寺



0043_安楽寺



0044_安楽寺



0045_安楽寺



0046_安楽寺



0047_安楽寺



0048_安楽寺



0049_安楽寺



0050_安楽寺



0051_安楽寺



0052_安楽寺



0053_安楽寺



0054_安楽寺



0055_安楽寺



0056_安楽寺



0057_安楽寺



0058_安楽寺



0059_安楽寺



0060_安楽寺



0061_安楽寺



0062_安楽寺



0063_安楽寺



0064_安楽寺



0065_安楽寺



0066_安楽寺



0067_安楽寺



0068_安楽寺



0069_安楽寺



0070_安楽寺



0071_安楽寺



0072_安楽寺



0073_安楽寺



0074_安楽寺



0075_安楽寺



0076_安楽寺



0077_安楽寺



0078_安楽寺



0079_安楽寺



0080_安楽寺



0081_安楽寺



0082_安楽寺



0083_安楽寺



0084_安楽寺



0085_安楽寺



0086_安楽寺



0087_安楽寺



0088_安楽寺



0089_安楽寺



0090_安楽寺



0091_安楽寺



0092_安楽寺



0093_安楽寺



0094_安楽寺



0095_安楽寺



0096_安楽寺



0097_安楽寺



0098_安楽寺



0099_安楽寺



0100_安楽寺



0101_安楽寺



0102_安楽寺



0103_安楽寺



0104_安楽寺



0105_安楽寺



0106_安楽寺



0107_安楽寺



0108_安楽寺



0109_安楽寺



0110_安楽寺



0111_安楽寺



0112_安楽寺



0113_安楽寺



0114_安楽寺



0115_安楽寺



0116_安楽寺



0117_安楽寺



0118_安楽寺



0119_安楽寺



0120_安楽寺



0121_安楽寺



0122_安楽寺



0123_安楽寺



0124_安楽寺



0125_安楽寺



0126_安楽寺



0127_安楽寺



0128_安楽寺



0129_安楽寺



0130_安楽寺



0131_安楽寺



0132_安楽寺



0133_安楽寺



0134_安楽寺



0135_安楽寺



0136_安楽寺



0137_安楽寺



0138_安楽寺



0139_安楽寺



0140_安楽寺



0141_安楽寺



0142_安楽寺



0143_安楽寺



0144_安楽寺



0145_安楽寺



0146_安楽寺



0147_安楽寺



0148_安楽寺



0149_安楽寺



0150_安楽寺



0151_安楽寺



0152_安楽寺



0153_安楽寺



0154_安楽寺



0155_安楽寺



0156_安楽寺



0157_安楽寺



0158_安楽寺



0159_安楽寺



0160_安楽寺



0161_安楽寺



0162_安楽寺



0163_安楽寺



0164_安楽寺



0165_安楽寺



0166_安楽寺



0167_安楽寺



0168_安楽寺



0169_安楽寺



0170_安楽寺



0171_安楽寺



0172_安楽寺



0173_安楽寺



0174_安楽寺